



「2学期が始まります」

本日25日より2学期が始まりました。37日間の夏休みは有意義に過ごせたでしょうか。やり残したことはありませんか。夏休み中は自由水泳や図書貸し出し、アイガモのお世話や自然探検隊、水辺の生き物観察会や体験学習会、公民館行事や地域のお祭りなど、日ごろ経験できないことがたくさんありました。それ以外にも友達や家族とのたくさんの経験ができたと思います。まだまだ暑さも厳しく、体調管理も難しいですが、長い2学期のスタートを順調に乗り切っていって欲しいと思います。

保護者や地域みなさまには、2学期もいろいろな行事でお世話になることが多いと思いますので、よろしくお願いいたします。



「自由水泳」



今年も育友会行事の一つとして、夏休みの自由水泳が開催されました。今年からは暑さ対策として、午前中に開催されることになりましたが、それでも暑い日ばかりでした。子どもたちは元気に喜んで参加してくれ、予定通りの日程を無事終えることができました。監視にご協力いただきありがとうございました。



「平和学習」

毎年各学年で絵本の読み聞かせを行ったり、DVDなどで動画鑑賞したりして戦争や平和についての理解を深める学習をしています。

今年には戦後80年ということもあり、文化福祉センターより学芸員さんをお招きしました。全校児童で、初島の東亜燃料（現ENEOS）が空襲を受けたことや戦時中の生活について、当時の服や出征時に持っていた寄せ書き、千人針などの貴重な資料を見せていただきながらお話を聞かせていただきました。糸我からも出征し、残念ながら帰国できなかった方もいらっしゃるということも教えていただき、戦争がもたらす悲しみをより身近に感じる事ができたのではないのでしょうか。



「田んぼの学校」



夏休み期間中も5年生有志が活動してくれました。はじめの3日間は「お世話サマー」で、ハウスの掃除とエサやり。8月20日には、今まで頑張ったアイガモたちを田んぼから引き上げるお手伝いです。すっかり大きくなったアイガモは逃げ回っていましたが、次々と捕まえてコンテナに入れてくれました。



「水辺の生き物観察会」



「糸我地域資源保全グループ」の主催で、3・4年生を対象に行ってくださいしています。谷川で魚や生物を捕獲したり、県立自然博物館の楫（かじ）学芸員に魚のことについて教えていただいたりしました。オイカワ・カワムツ・ドジョウ・モクズガニ・ナマズなどいろいろな生き物がいました。中には、ブラックバスの稚魚もいて、とても驚きました。

